プラごみバスターズになろう!

1

え、これはなに??

2

これはね、まんなかにいるさかなと、おなじおもさのプラスチックごみだよ。

このままでは、うみは2050ねんには、さかなよりもごみの方がおおくなってしまうともいわれているんだ!!

3

しかもこまったことに、プラスチックはくさったりしない。たとえばペットボトルは400ねんたってもそのままで、うみをただよってしまうんだって

そんな!
なんとかできないの?

4

ところで、なんでそんなにうみにごみがあるの??

いいしつもんだね。このごみを**「はぐれプラごみ」**となづけて、まずこのごみがどこからきたのか、かんがえてみよう!

プラごみバスターズ大作戦

そなえよつねに ボーイスカウト スカウトの日

ビーバースカウト・カブスカウトのミッション!

「はぐれプラごみ」がどうしてうまれるのかしらべ、じぶんにできることをかんがえよう!

ねんに1かい、まちにおちているごみをひろうだけでは、「はぐれプラごみ」のもんだいはなくならない。
「はぐれプラごみ」がどうしてうまれるのか、りゆうをかんがえてみよう。そして、ごみがはぐれないように、まいにちできることをやろう! はぐれプラごみのもんだいを「もと」からなくすのが**「プラごみバスターズ大作戦」**だ!

プラごみバスターズになろう!

まきもどしてみよう

おうちの人と読もう!

雨や風の日にたくさんのプラスチックが川に流れていく

日本全国の川を調査した
愛媛大学
片岡 智哉 先生

りくから海へプラスチックが流れていくことはなんとなくわかっていましたが、いつどこからどのように流れてくるのかをくわしく調べた人はいませんでした。わたしたちは北海道からおきなわまで、70の川を調べました。わたしたちのちょうさではみんなの町で細かくなり、雨などで流れ出たプラスチックがたくさんみつかりました。ちょうさはたいへんでしたが、人が多くくらしている町のそばの川ほどマイクロプラスチックがおおいこと、雨の日になるといつもの10倍近くにふえることなど、いろいろなことがわかりました。意外と知られていないのですが、台風などのさいがいの時にたくさんのごみが海に出てしまいます。ふだんの生活でなるべくプラスチックごみをリサイクルするだけでなく、ごみが川に流されない「さいがい対さく」も大切なのです。

正しいすてかたを知ろう！

カブ
スカウト向け

しれい

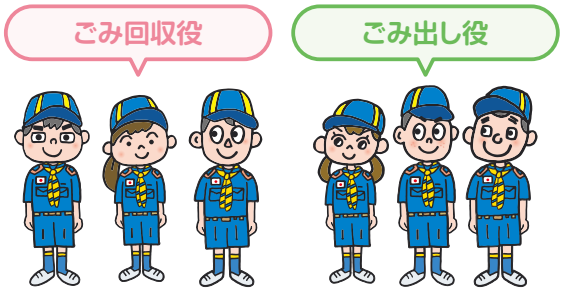
まなぶ　あそぶ　推理（すいり）ゲーム！プラごみはだれ？

★もくひょう

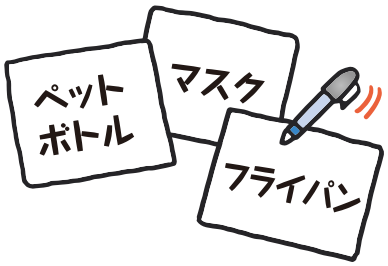
ゲームを通して、ふだん自分たちが出すごみや、ひろったごみが、何ごみに分べつされるのか、はんだんできるようになろう。

★やりかた

1 同じ人数になるように、「ごみ回収役」と「ごみ出し役」の2チームに分かれましょう。



2 「ごみ出し役」は「ごみ回収役」から見えないように、ごみの分べつ表から1人1つごみをえらび、紙に書きましょう。



3 「ごみ回収役」は、何ごみか話し合って時間内にこたえましょう。1つのごみにつき**せいげん時間は30秒、こたえるのは1回です。**

4 まちがえたらおわりです。すべてのごみを分べつできたら「ごみ回収役」の勝ちです。

★「ちょっとむずかしいごみ」のヒント

中身が入っているもの、ふくろに入らない大きなものなど、分べつ表にのっていないごみもたくさんある。
どうやってすてるのか、調べてみよう!

- 食べのこしが入ったおべんとうパック
- 大きな発ぽうスチロールのはこ
- ビニールかさ　●ヘルメット　など

★かんがえてみよう

ほかの町では、どんな分べつルールになっているんだろう?

なるべくかんきょうにやさしいごみのすて方はどんなかな?

おちてるごみは「ポイすて」だけ？

どんなところにはぐれプラごみがあるか、ごみはどうやってすてたらいいかわかったかな？

ちゃんとごみばこにすてても、ごみばこがあふれてはぐれプラごみがうまれてしてしまうこともあるよね！

ポイすてするつもりはなくても、うっかりおとしものをしてしまって、それがはぐれプラごみになっちゃうこともありそうだね！

そとにおきっぱなしにしておくと、かぜにとばされてはぐれプラごみになっちゃうかも！

さあ、ごみをひろいにいって、どんなふうにはぐれプラごみがうまれるかをもっとかんがえてみよう！

おうちの人と読もう！

いろいろな国のごみにくわしい
京都大学
浅利 美鈴 先生

「しること」ってとってもだいじなんです

わたしはいろいろな国のごみについて調べてきましたが、とても心にのこっているのがソロモン諸島の話です。ビニールやプラスチックが美しいビーチをうめつくしていたのですが、理由は住んでいる人たちのポイすてでした。もともとソロモンの人たちはほっておけば土にかえるバナナの葉やヤシの実などを使って生活していたので、ポイすてがあたりまえのくらしだったのです。プラスチックを使うようになっても、人々は土にかえらないものとは知らず、これまでと同じように、くらしているだけなのです。